

令和 7 年度 奈良県環境県民フォーラム事業実績

1. フォーラムの運営

- 総会の開催（令和 7 年 4 月 23 日）
- 10 人委員会の開催（5 回開催）
- 各分科会の開催
 - エネルギー（5 回開催） エコライフ（5 回開催） 資源活用（3 回開催）
 - 自然環境（4 回開催）

2. 主 要 事 業

（1）全 体



- 機関紙「環境県民フォーラムだよ！り」の発行（2 回）
 - 目 的 フォーラムのアピールと会員内の情報共有
 - 仕 様 三つ折り 6 ページ A4 版
 - 部 数 1,500 部（55 号）
1,500 部（56 号）
 - 配布先 フォーラム会員、関係団体、公共機関、県内市町村
- エコな～らライフ宣言（CO₂ ダイエット事業）の見直し
 - 目 的 家庭で手軽に取り組める省エネ行動の普及、地球温暖化の主な原因となっている CO₂ の排出量抑制に向けた意識の高揚、環境保全への更なる意識の高揚等を目的として植樹バスツアーを実施してきたが、費用対効果に優れ、より実効性のある活動を目指して令和 8 年度以降の活動内容の検討を行った。
 - 内 容 植樹は人間が出した CO₂ を吸収する大切な活動であり、フォーラム設立以来の重要なテーマであるため、植樹活動をベースに検討した。結果は事業計画にて説明を行う。
- カーボンニュートラルの実現・地球温暖化防止に向けた普及啓発活動の推進
 - フォーラム助成金事業の実施
 - 目的：奈良県内の環境保全活動・地球温暖化防止活動をさらに一層促進するため、「地域に根ざした環境保全活動」及び「地球温暖化防止を目的に生活様式の見直しをすすめる活動」に取り組む団体を支援する助成金制度を設け、今年度はテーマを「野生生物にかかる環境保全活動」に絞って募集を行い、1 団体へ助成を実施した。
 - 助成団体：特定非営利活動法人 奈良環境カウンセラー協会
 - テーマ： 脱炭素社会のためのゲーム・セミナーの開催

●他の関係機関との連携

- ・「匠の環」交流会への参画（奈良県地球温暖化防止活動推進センター主催）
- ・アースデイ奈良あちこち開催への参画（アースデイ奈良2025実行委員会主催）

（２） 各分科会の活動

① エネルギー分科会



○エコクッキング教室の開催

省エネルギーについて考えるきっかけとしていただくため、鍋帽子®を活用した調理方法についての講習会を開催した。火にかける時間が少なくても美味しく調理ができることを体感いただき、鍋帽子®の効用を十分にご理解いただくことができた。

日程 令和8年2月19日

場所 奈良市ボランティアセンター

内容 さつま芋ごはん、白菜と豚バラ肉ミルフィーユ風鍋、カスタードプリン

参加者 県民11名

○木質バイオマス発電所見学会の開催（資源活用分科会との共催）

エネルギー利用や資源活用等に関する知見を深め、今後の県民啓発活動等に役立てるため、フォーラム関係者を対象とした見学会を開催した。

日程 令和8年3月3日

行先 株式会社クリーンエナジー奈良 吉野発電所

内容 森林資源や廃木材等を活用する木質バイオマス発電所の現状と課題、およびFIT制度の概要等について学んだ

参加者 フォーラム関係者34名

② エコライフ分科会



○河川浄化への啓発

奈良県主催の会議への参加

- ・奈良県浄化槽推進協議会（令和7年5月22日開催）
浄化槽の必要性について令和6年度の視察成果を報告。
- ・大和川重点対策支川部会（令和7年7月14日・30日開催）
有識者として参加。水質改善に向けての提案を行う。

事業計画では、大和川の支川で国の環境基準、BOD5mg/Lの達成が出来ていない大和高田市の土庫川、高田川の水質検査（パックテスト）を実施し、データ提供を行う予定だったが実施できなかった。

○地域が育む川づくり

河川の景観づくりや、川の美化活動を行っている団体との協働の場作りの実施ができなかった。

○環境学習会

小学生を対象とした環境学習会を実施

テーマ：「水はめぐる」

日 程：令和7年7月4日

参加者：五條市立五條南小学校 5年生

内 容：合併浄化槽の働き、水質検査(パックテスト)の演習、バキュームカーの実車体験など。

- 「100%循環型の奈良県版エコな食文化（仮称）」の創出（新事業）
新事業として計画したが、参加メンバーが少なく実施出来なかった。

③ 資源活用分科会



○環境にやさしい買い物キャンペーンの実施

日 程：令和7年10月15日 10時から12時

場 所：イオンモール大和郡山（大和郡山市）

概 要：3R推進月間及び食品ロス削減月間である10月に実施。本年度のキャンペーンとして、エシカル消費につながるエコマークなどの認証マークに対する認知度調査を行った。マークによる認知度の差が大きいことが認識できた。

○エコ見学会の実施（3回）

第1回 日 程：令和7年7月2日

場 所：環境学習施設やまとeco（リサイクルセンター・クリーンセンター）

概 要：エネルギー回収型廃棄物処理施設やマテリアル推進施設を視察。また、環境学習施設の見学を通じ、資源循環とエネルギーの有効利用の重要性を再認識した。

第2回 日 程：令和7年12月9日

場 所：「大阪湾フェニックス計画」大阪沖処分場

概 要：近畿2府4県の廃棄物最終処分場の稼働現状を知り、ごみの減量の必要性の認識を新たにした。

第3回 日 程：令和8年3月3日※エネルギー分科会との共催

場 所：株式会社クリーンエナジー奈良 吉野発電所

概 要：森林資源や木材の廃材などの資源を活用する木質バイオマス発電所の現状と課題について認識することができた。

○学習会の実施

テーマ：「容器包装リサイクルの現状と課題について」

講 師：市民生活協同組合ならコープ・株式会社エフピコ ご担当者

日 程：令和8年2月24日

場 所：ならコープ物流センター

概 要：店舗により回収された容器包装リサイクルの現状・課題及び今後の展開について、現地視察及び座学を通じ学習した。

○他の関係機関との連携による事業の実施

・奈良市地球温暖化対策協議会など他団体と、人的交流及び情報交換を実施

④ 自然環境分科会



○自然環境セミナー

目 的：自然環境への理解を深め、得た経験を地域での活動に役立ててもらうため、「本陣講座」を開催（奈良追分コミュニティ）

テーマ：「準絶滅危惧種大和橘の再生に向けて」

日 程：令和7年5月11日

内 容：第1部

宇山恵子先生を講師に迎え、英国王立植物園での絶滅危惧種の再生の試みについて。日本の「大和橘」再生に向けた大和橘茶畑の維持管理についての講演。

第2部

大和橘茶畑の見学・大和橘のお茶とチンキ作り体験。

○自然体験教室（4回）

目 的：自然体験の機会を提供し、自然環境に興味を持ってもらうきっかけ作りとして、自然体験活動実施者の増大を図る。

第1回 「芋掘り・菜の花苗の移植」（宙塾）

日程 令和7年11月2日

第2回 「ピーナツ掘り体験」（山の辺の道ファンクラブ）

日程 令和7年11月6日

第3回 「七草粥の会」（NACS-J 自然観察指導員奈良連絡会）

日程 令和8年1月18日

第4回 「ロケットストーブ作り・竹チップ堆肥作り体験」（ほっとねっと）

日程 令和8年3月28日

○菜の花プロジェクトの推進

・各フィールドの支援

・「山の辺の道菜の花まつり」（山の辺の道ファンクラブ）

・「追分菜の花まつり」（奈良追分コミュニティ）

・「菜の花苗植栽推進」（さくらい菜の花プロジェクト）

・菜の花だより・橘だよりの編集

・フォーラムだよりの発刊

10月・3月発行のフォーラムだよりへの寄稿